

ぴあフィルムフェスティバル 2023 in 京都



2023.10.14(土) → 22(日) ※月曜休館

主催：一般社団法人PFF / 共催：京都文化博物館 / 運営協力：Brand new day

THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館 3階フィルムシアター

10.14(土)	11:30~	●『革命狂時代』 ●『ヒロシマから遠く離れて』 ●『明日に向かって走れない!』	14:00~	●『空飛ぶ円盤を見た男』3部作 ●『死ぬにはまにあわない!』	17:00~	スペシャル企画 鈴木卓爾氏が斎藤監督を語り、 秘蔵映画をみせる
10.15(日)	11:00~	●『暗くなるまで待てない!』 ●『夏子と長いお別れ』	13:45~	●『くじらのまち』 ●『WANDA ワンダ』	17:45~	●『鳥籠』 ●『サッドカラー』
10.16(月)	休館日					
10.17(火)	15:00~	●『風櫃の少年』	18:00~	●『あみこ』 ●『おやすみ、また向こう岸で』		
10.18(水)	15:00~	●『ボセッション』	18:00~	●『ホーリー・マウンテン』		
10.19(木)	15:00~	●『旅人は休まない』	18:00~	●『リバーシブル/リバーシブル』 ●『肉にまつわる日常の話』 ●『Sewing Love』		
10.20(金)	15:00~	●『ビハインド』 ●『1/880000の孤独』	18:00~	●『完璧な若い女性』 ●『ホモ・アミークス』		
10.21(土)	11:30~	●『リテイク』 ●『ちょっと吐くね』	14:45~	●『移動する記憶装置展』 ●『また来週』	17:30~	●『ふれる』 ●『Flip-Up Tonic』 ●『Parking Area』
10.22(日)	11:30~	●『USE BY YOUTH』 ●『ただいまはいまだ』	14:00~	●『逃避』 ●『うらぼんえ』 ●『ころざしと東京の街』	16:45~	●『じゃ、また。』 ●『ハーフタイム』 ●『不在の出来事』

TIME TABLE

開場時間は上映時間の15分前となります
◎ゲスト来場予定
※プログラムおよび来場ゲストが予告なく変更になる場合もございます。ご了承ください。

チケット情報 10月3日(火)朝10時より、チケットぴあにて発売。
[Pコード:553-389] ※上映開始時まで販売します。

【チケットぴあ購入方法】
①インターネット購入 ②セブン-イレブンのマルチコピー機で購入
※会場ではチケットの発券ができません。必ず、セブン-イレブンかファミリーマートで発券の上、ご来場ください

【会場でのチケット販売について】
会場窓口でも、上映当日にチケットを販売いたします。販売枚数には限りがありますので、ご了承ください。
●販売時間：各回上映開始の30分前から販売 ●販売場所：3階受付にて販売
●販売数：10枚程度(チケットぴあ完売時は、販売なし)

日時指定/整理番号付き自由席券	一般(シニア含む)	障がい者・友の会	学生
PFFアワード	¥1,000	¥500	¥500
招待作品部門	¥1,500	¥1,000	

アクセス 京都文化博物館 3階フィルムシアター(京都市中京区三条高倉)
●地下鉄「烏丸御池駅」から徒歩3分 ●阪急「烏丸駅」から徒歩7分 ●京阪「三条駅」から徒歩15分 ●市バス「堺町御池」から徒歩2分

お問い合わせ 一般社団法人PFF 03-5774-5296(平日11時~18時)

主催：PFF 一般社団法人PFF 共催：京都文化博物館

オフィシャルパートナー：ぴあ、ホリプロ、dentsu group、Hakuhodo DY media partners

メディアパートナー：京都新聞、GStation

オフィシャルTOPサポーター：三菱地所、U-NEXT

オフィシャルサポーター：スカパー!、住友不動産、セブン&アイHLDS.

特別協賛：朝日新聞、iX7 Imaging Works、IJJ Internet Initiative Japan、Tokyofm、FMBDZ、KLOCK WORK、KDDI、NHK、STAR B510、SEGA Sammy 文化芸術財団、TACHIHI、チノ「J」テレビ、東京テアトル、TOKYO MX

協賛：DOKUSO、TOPPAN、NIKKATSU、fMOALA、SMBC 三井住友カード、MUFG 三菱UFJニコス

協賛：R-factor、きらぼし銀行、Congres、CONCENT、佐藤工業、SPACE SHOWER、DISK GARAGE、tv asahi

協賛：TV Tokyo、東京現像所、KOGEI、TOHAN、BANDAI NAMCO、FASCINATE CO.,LTD、POOL inc.

協賛：フジテレビジョン、PONYCANYON INC.、MOVIE WALKER PRESS、夜景検定

協賛：アテネ・フランセ文化事業(株)/(株)伊藤園/(株)運動会屋/エイベックス・ピクチャーズ(株)/KANDO(株)/ギャガ(株)/キングレコード(株)/ウエストルーム(株)/(有)スタンス・カンパニー/チケットぴあ九州(株)/チケットぴあ名古屋(株)/(株)夏への扉/(株)PIVOT/(有)フォルム/(有)プレス/(有)ヴォルテージ/(株)マジックアワー/(株)みずほ銀行/(株)MOON LIGHT/(株)ロケット

A Program 10.20 金 18:00~



完璧な若い女性 エンタテインメント賞 監督 渡邊龍平 (22歳) 令和の"シン・歌謡映画"が誕生!



ホモ・アミクス 監督 馬淵ありさ (27歳) さまざまな「共生」のかたち

C Program 10.15 日 17:45~



鳥籠 審査員特別賞 監督 立花 遼 (21歳) 彼らが鳥籠にとどまる理由



サッドカラー 監督 高橋栄一 (33歳) 感情を測れる世界のディストピア

PFFアワード2023

1977年から続く、「映画監督への登竜門」と呼ばれる自主映画コンペティション。557本の応募作品の中から入選した、22作品をスクリーンで上映します! 会場には監督が続々来場予定! さらに、京都会場では観客のみなさんに投票いただく「京都観客賞」を決定します! ぜひ投票してください!

F Program 10.21 土 17:30~



ふれる 準グランプリ 監督 高田恭輔 (21歳) 「ふれられぬもの」にふれるには

G Program 10.22 日 14:00~



逃避 監督 山口真凜 (22歳) 男と女、日常と逃避の物語

Flip-Up Tonic



監督 和久井 亮 (22歳) スリリングな事務所会話サスペンス!

うらぼんえ 審査員特別賞



監督 寺西 涼 (27歳) 「あちら」と「こちら」が裏がえる

Parking Area



監督 増山 透 (29歳) 無機質と親密性の幻想世界

ころろざしと東京の街



監督 鈴木凜太郎 (21歳) 10分で描かれた「道」と「人生」

B Program 10.21 土 11:30~

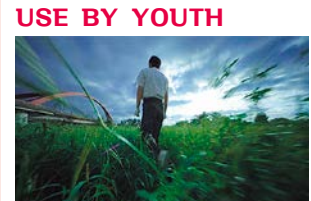


リメイク グランプリ 監督 中野晃太 (35歳) 劇中映画に翻弄される110分!



ちょっと吐くね 監督 大野世愛 (22歳) トイレが舞台の異色の会話劇

D Program 10.22 日 11:30~



USE BY YOUTH 監督 高木万瑠 (20歳) 映画の初期衝動が爆発する!



ただいまはまだ 監督 劉 綱 (28歳) 一軒家、4人の人生が交差する

E Program 10.21 土 14:45~



移動する記憶装置展 観客賞 監督 たかはし そうた (31歳) 町と記憶、記憶と身体



また来週 監督 ハインズ 麻里子 (21歳) フィクションと共に生きる

H Program 10.19 木 18:00~



リバーシブル/リバーシブル 審査員特別賞 監督 石田忍道 (34歳) 様々な現実と心の向き合い方

I Program 10.22 日 16:45~



じゃ、また。 映画ファン賞 監督 石川泰地 (27歳) このワンルーム、何かが変だ

肉にまつわる日常の話



監督 石川真衣 (22歳) ひとりの人間の食歴と人生

ハーftime



監督 張 曜元 (33歳) 感情がフレームを飛び越える

Sewing Love



監督 許 願 (27歳) 感情の形状、愛の質感

不在の出来事



監督 川口淳也 (29歳) ワンルーム、宇宙。

招待作品部門

イカすぜ!70~80年代!



大森一樹監督再発見

映画が好きすぎたゆえ、映画になろうとしたひとの、映画への愛と憧れが溢れる3プログラム。

10.14 土 11:30~ 自主映画時代① 8mm3作品 緒方明監督

『革命狂時代』 1969年/13分 8mm

『ヒロシマから遠く離れて』 1972年/2分 8mm

『明日に向かって走れない!』 1972年/42分 8mm



10.14 土 14:00~ 自主映画時代② 8mm4作品 緒方明監督

『空飛ぶ円盤を見た男』(3部作) 1972年~1981年/50分 8mm

『死ぬにはまにあわない!』 1974年/47分 8mm



10.15 日 11:00~ 自主映画時代③ 16mm2作品 緒方明監督、南淳泰造氏(出演)

『暗くなるまで待てない!』 1975年/70分 16mm

『夏子と長いお別れ』 1978年/25分 16mm



山中瑤子監督『あみこ』への道

「映画監督とは作家なのだ!」と知ったとき、『あみこ』の生まれる土台ができた——

10.17 火 18:00~ 山中瑤子監督

『あみこ』 2017年/66分



『おやすみ、また向こう岸で』 2019年/24分



10.18 水 15:00~ 10.18 水 18:00~

『ポゼッション』 1980年/124分 監督:アンジェイ・ズラウスキー



『ホーリー・マウンテン』 1973年/114分 監督:アレハンドロ・ホドロフスキー



2028年の第50回開催に向け、PFFが生まれた70年代から、毎年10年区切りで自主映画のみならず当時の傑作の数々を上映し、時代を、歴史を体感する企画をスタートします。

齋藤久志監督再発見

長回しのロングショット、ひとを捉える独自の空間と時間、惜しまれるその逝去...

10.14 土 17:00~ 鈴木卓爾監督

スペシャル企画 鈴木卓爾氏が斎藤監督を語り、秘蔵映画をみせる

自主映画時代から、斎藤監督作品に出演していた鈴木卓爾監督。秘蔵映像&数々のエピソードで、斎藤久志監督の映画術を伝えていく。

日比野幸子プロデューサー再発見

現在のPFFの礎をつくった日比野氏が、当時いち早く紹介したアジアの新鋭から2作品を上映。

10.17 火 15:00~ 10.19 木 15:00~

『風櫃の少年』 1983年/101分/台湾 監督:ホウ・シャオシェン



『旅人は休まない』 1987年/105分/韓国 監督:イ・チャンホ



鶴岡慧子監督セレクト

早逝したバーバラ・ローデン監督の衝撃作と、初長編でベルリンに招待された鶴岡慧子監督のPFFグランプリ作品を2本立て上映。

10.15 日 13:45~ 鶴岡慧子監督

『くじらのまち』 2012年/70分 監督:鶴岡慧子



『WANDA ワンダ』 1970年/103分 監督・主演:バーバラ・ローデン



驚異の傑作!

山川直人監督&石井聰互監督による、70~80年代を代表する、伝説の8mm自主映画を2本立て上映。

10.20 金 15:00~

『ビハインド』 1979年/109分 監督:山川直人



『1/880000の孤独』 1977年/43分 監督:石井聰互(岳龍)

